

Let's Play

Technics

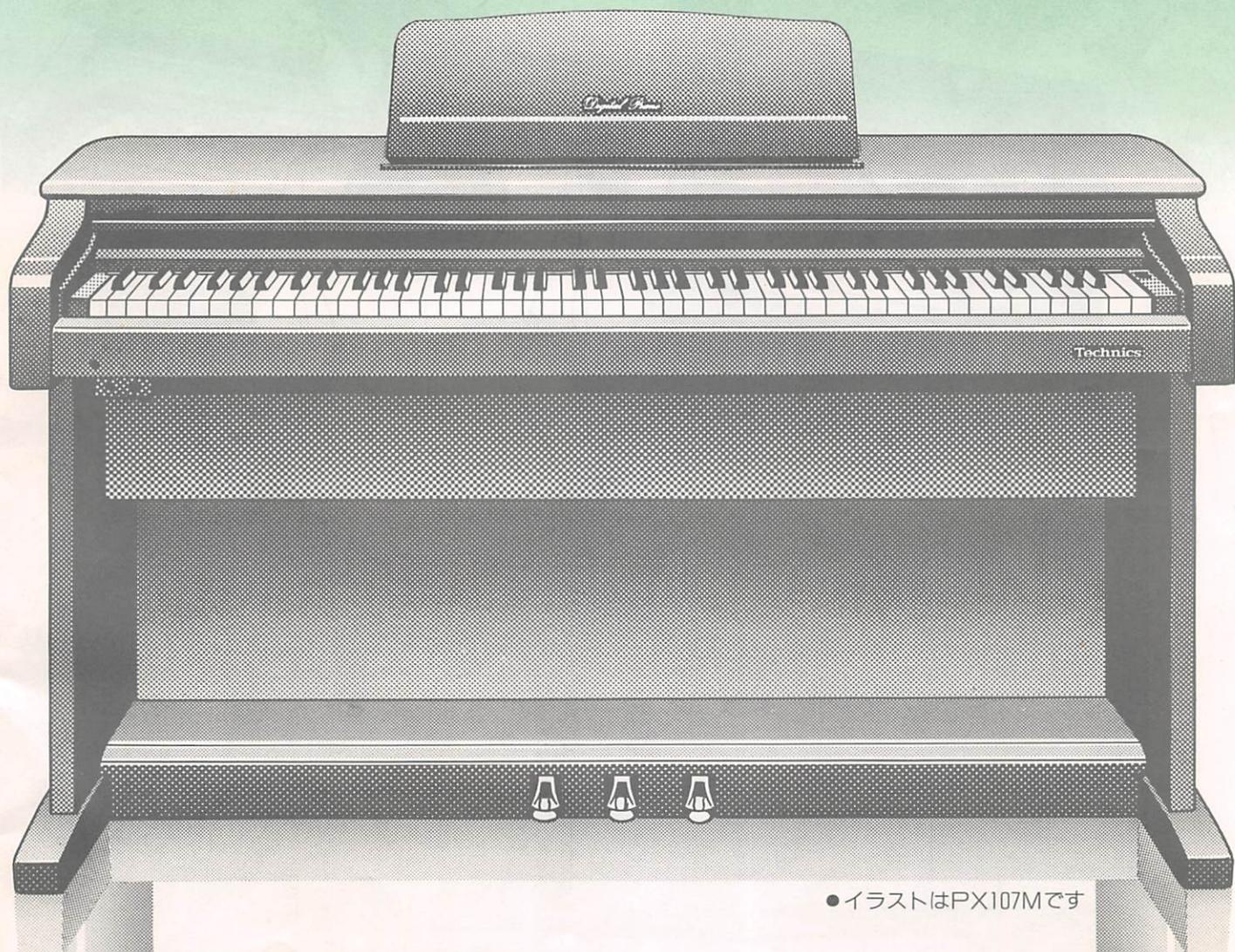
デジタルピアノ

品番SX-PX102

品番SX-PX105

品番SX-PX107M

取扱説明書



●イラストはPX107Mです

保証書別添付

上手に使って上手に節電

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

このたびは、テクニクスデジタルピアノをお求めいただき
ありがとうございました。

美しい音色で感性豊かな演奏



かができます



- グランドピアノのリッチな響きをそのままに再現するPCM音源
- 鍵盤を弾く強さで軽やかな音、力強い音を表現できるタッチセンス
- 自分の演奏をそのまま録音して、再生できるシーケンサー (PX105/PX107)
- 他の電子楽器と接続して、アンサンブルなどが楽しめるMIDI機能

もくじ

ご使用前に

- 必ずお守りください……………4
- 準備をする……………5

使いかたについて

- デモ演奏を聴く……………6
- 音色と効果について (PX102)……………8
- 音色と効果について (PX105/PX107)……………10
- 2つの音色を重ねる……………12
- 移調する……………14
- ピッチを調節する……………15
- リバーブの深さを変える (PX105/PX107)……………16
- メトロノームを使う (PX105/PX107)……………17
- 演奏を録音する (PX105/PX107)……………18

機能の設定

- そのほかの機能を設定する……………22
- MIDIの設定をする……………24

組み立てかた

- 組み立てかた……………30

その他

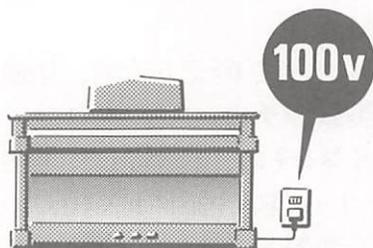
- 接続端子/故障かな!?……………32
- アフターサービスについて……………33
- 定格……………34

- 商品のイラストは、主にPX107を基本に説明しています。PX102/PX105は、ボタンの数や位置が少し異なりますが使い方は同じです。

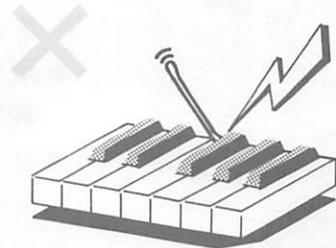
必ずお守りください

使用上のご注意

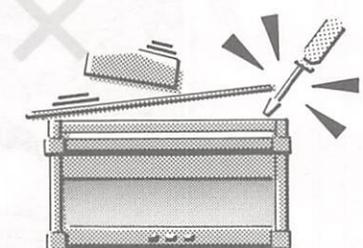
100V電源以外は使わない
(火災、故障の原因)



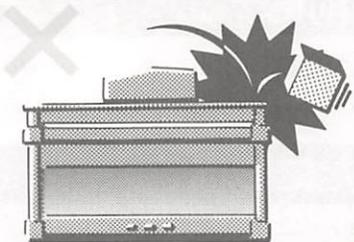
金属などを差込まない
(感電の恐れ)



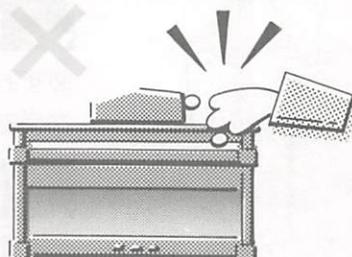
分解、改造をしない
(事故の原因)



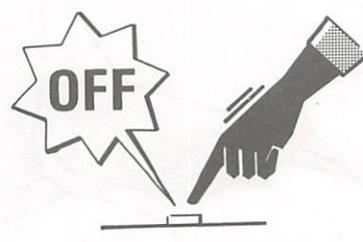
強い力や衝撃を与えない
(故障の原因)



水をこぼさない
(火災、感電の恐れ)

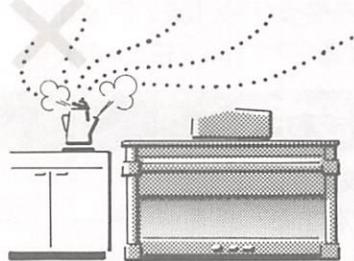


使用後は、必ず
電源スイッチを切る

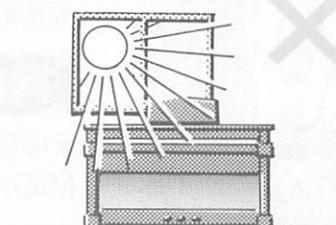


設置場所について

湿気がある所に置かない
(風通しのよい所へ)



直射日光を当てない
暖房器具を近づけない
(変色、変形の原因)

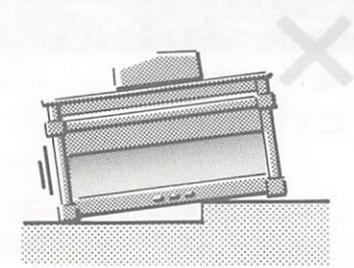


お手入れ

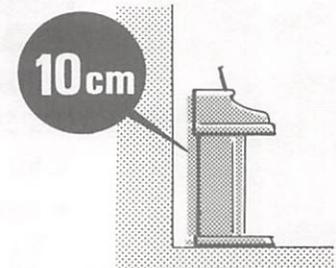
よくしぼった柔らかい
布でふく。
(石油系溶剤は使わない)



不安定な所に置かない
(振動の少ない平らな床に)



壁から10cmほど離す
(壁の振動の原因)



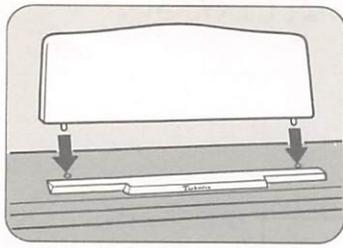
こんなときは

- 音がまったく出ない
- 異様な臭いや煙が出る

ただちに電源を切り、コンセントを抜いた後、お買い上げの販売店にご連絡を。

準備をする

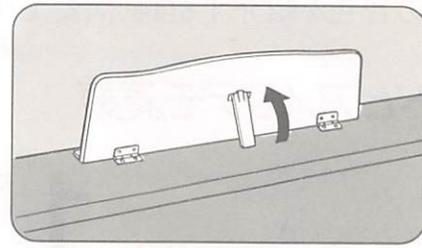
必ずお守りください／準備をする



PX102

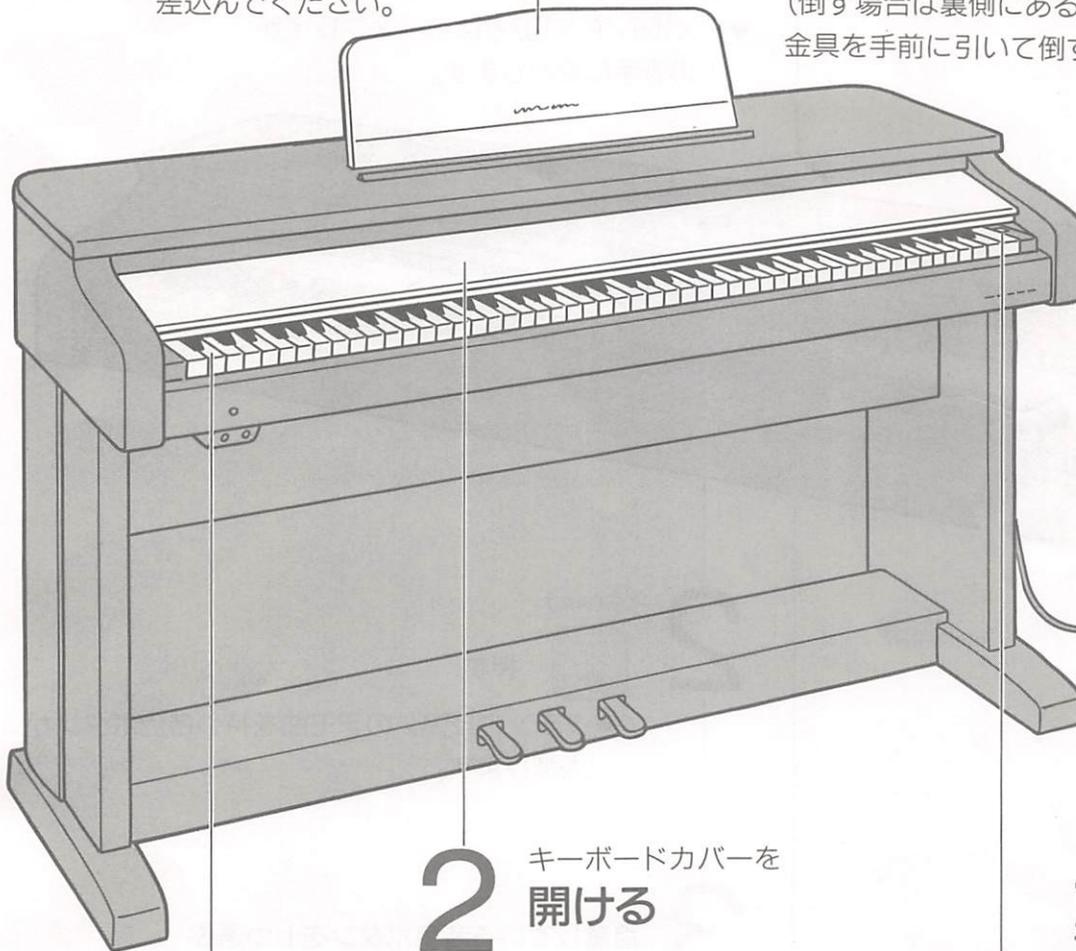
- 図のように2つの穴に差込んでください。

1 譜面立てを立てる



PX105/PX107

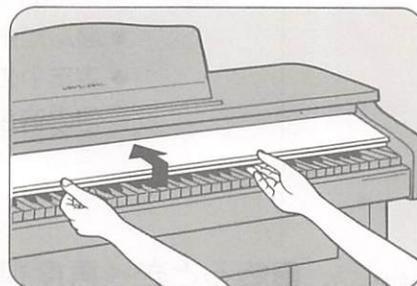
- 手前に起こして立てる。
(倒す場合は裏側にあるささえ金具を手前に引いて倒す。)



2 キーボードカバーを開ける

5 演奏する

- 弾く強さに応じて音の強弱が変化するタッチセンス付き鍵盤です。



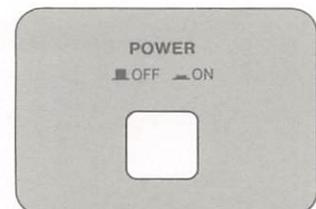
- 開閉は静かに行ってください。

3

電源コンセントに差込む

4

電源スイッチを押す



調律について

デジタルピアノはアコースティックピアノとは違い、長くご使用いただいても調律の必要はありません。

デモ演奏を聴く

このピアノの音色を紹介する自動演奏です。演奏のお手本にするなどしてください。

グランドピアノのデモ演奏

1

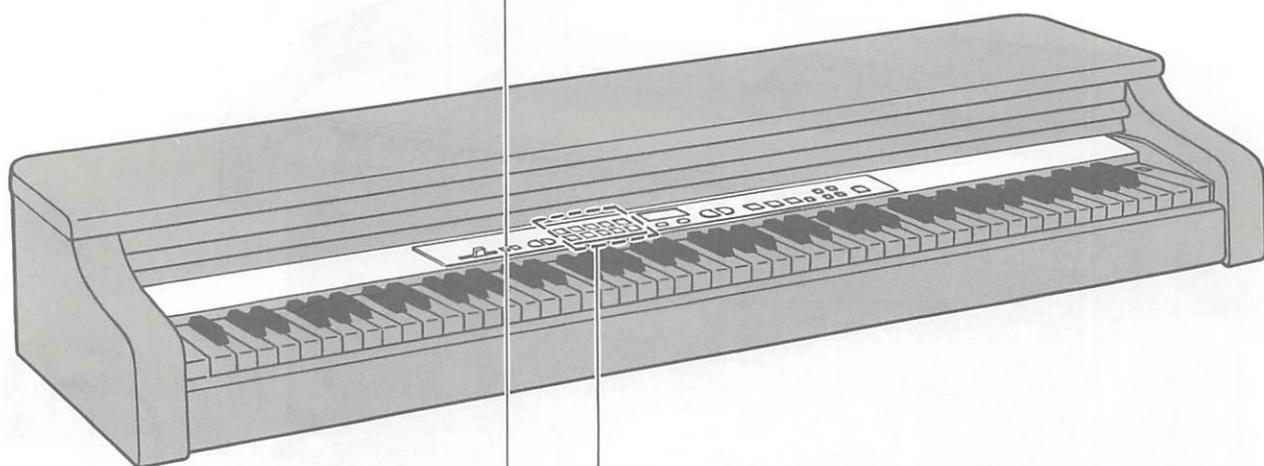
DEMO
♪



押す



- 音色ボタン点滅。
- PX105/PX107ではディスプレイが上の表示に変わります。



2

GRAND



押す

- グランドピアノのデモ曲を持つ音色ボタンが点滅します。

3

点滅している音色ボタンを1つ選ぶ
⇒デモ曲がスタート

- 選んだボタンのインジケータのみが点滅します。
- 演奏中のボタンを押すとデモ曲は止まります。他の音色ボタンを押すと別のデモ曲になります。

■終るとき⇒再度押す

- PX105/PX107は、ディスプレイがオフに戻ります。

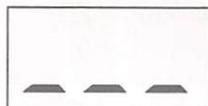
そのほかの音色のデモ演奏

1

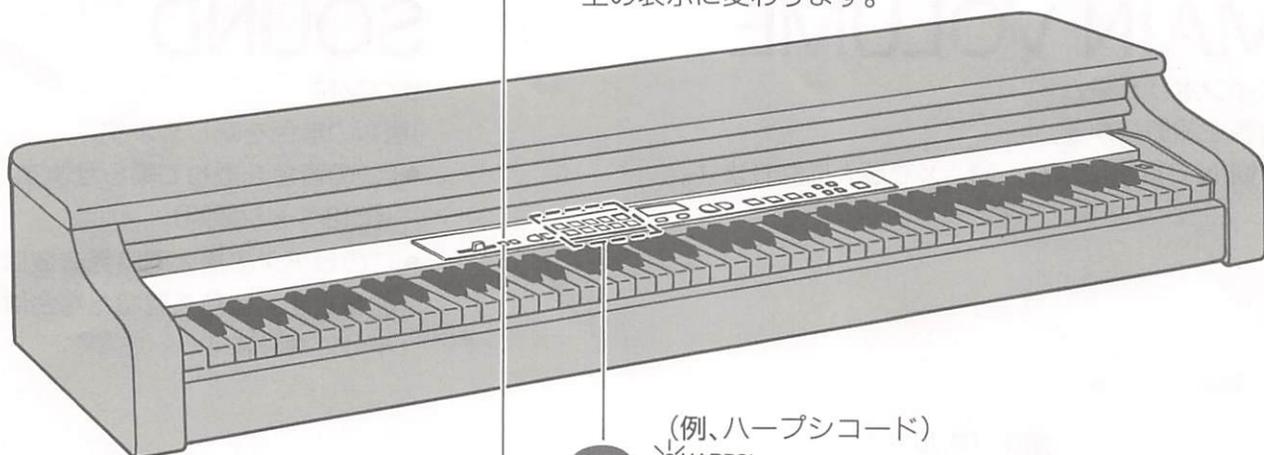
DEMO



押す



- 音色ボタン点滅。
- PX105/PX107ではディスプレイが上の表示に変わります。



2

(例、ハープシコード)



HARPSI



聴きたい音色(グランドピアノ以外)を選ぶ
⇒デモ曲がスタート

- 選んだ音色ボタンのインジケータのみが点滅します。
- 演奏中のボタンを押すとデモ曲は止まります。他の音色ボタンを押すと別のデモ曲になります。

■終るとき⇒再度押す

- PX105/PX107は、ディスプレイがオフに戻ります。

■デモ曲の連続演奏を聴く

DEMO

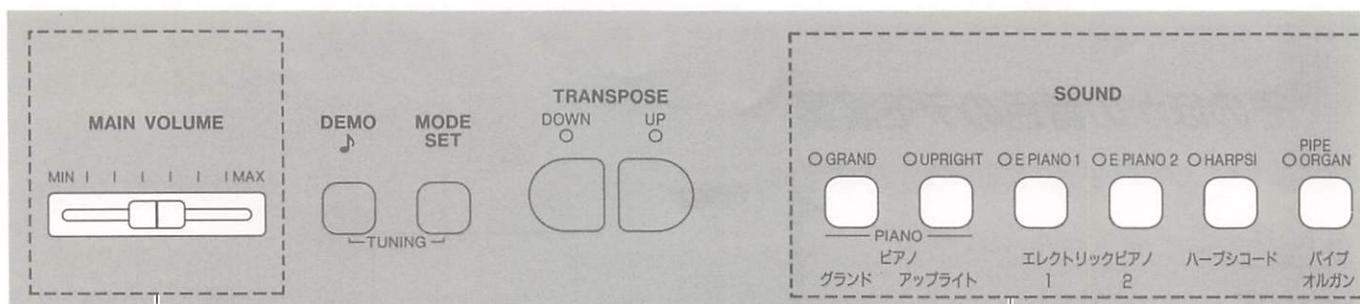


押し続ける(数秒)

⇒デモ曲が順に演奏される。

- 点滅中のボタンを押すと、次のデモ曲に移ります。
- くり返し何度でも演奏されます。
- 再度、デモ<DEMO>を押すとデモ演奏が終わります。
- PX105/PX107では、デモ<DEMO>を押した後、スタート/ストップ<START/STOP>を押すことによっても連続演奏の開始/停止ができます。

音色と効果について (PX102)



MAIN VOLUME

メインボリューム
音量を調節します。

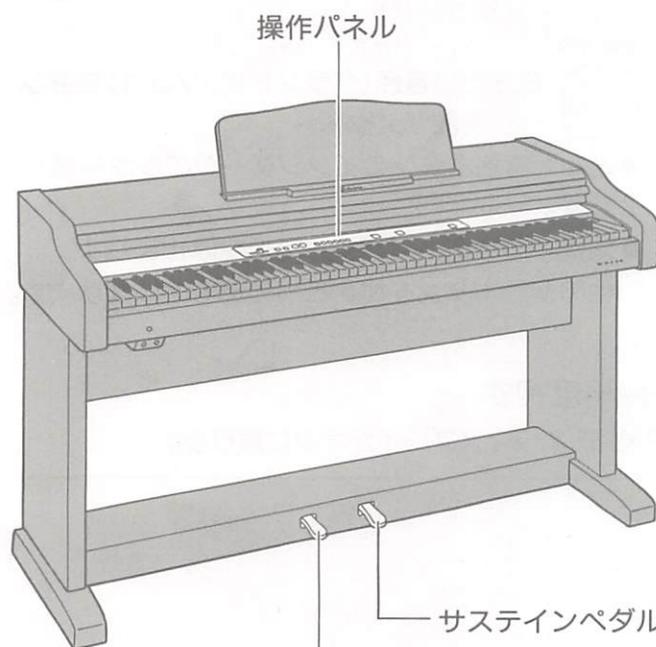
- MINで最小になり、MAXで最大になります。

SOUND

サウンド

6種類の音色を楽しめます。

- 2つの音色を重ねて鳴らせます。
(☞12ページ参照)
- このピアノの最大同時発音数は32音です。音色を重ねた場合は半分になります。



サステインペダル

ペダルを踏むと音に余韻がつきます。

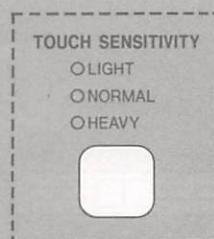
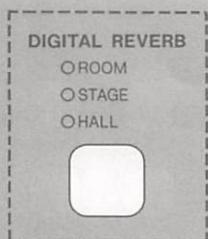
- グランドピアノ (GRAND PIANO)、アップライトピアノ (UPRIGHT PIANO) の音色では、右端の17鍵で常にかかります。

ソフトペダル

ペダルを踏むと音色が柔らかくなります。

- ソステヌートペダルに変えられます。(☞22ページ参照)



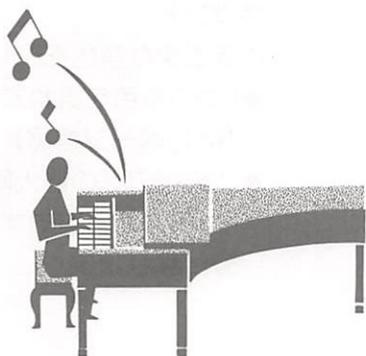


DIGITAL REVERB

デジタルリバーブ

音色に美しい残響をつけます。

- ルーム〈ROOM〉、ステージ〈STAGE〉、ホール〈HALL〉の順に残響が深く長くなります。
- 音色ごとに設定を記憶します。



TOUCH SENSITIVITY

タッチセンシティビティ

鍵盤のタッチの感度を変えられます。

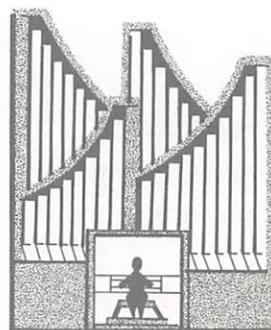
- 軽い〈LIGHT〉…軽く押しても大きい音が出ます。(お子様などに)
- 標準〈NORMAL〉
- 重い〈HEAVY〉…強く押さないと、大きい音が出ません。(指を鍛えたいときなどに)

DIGITAL CELESTE

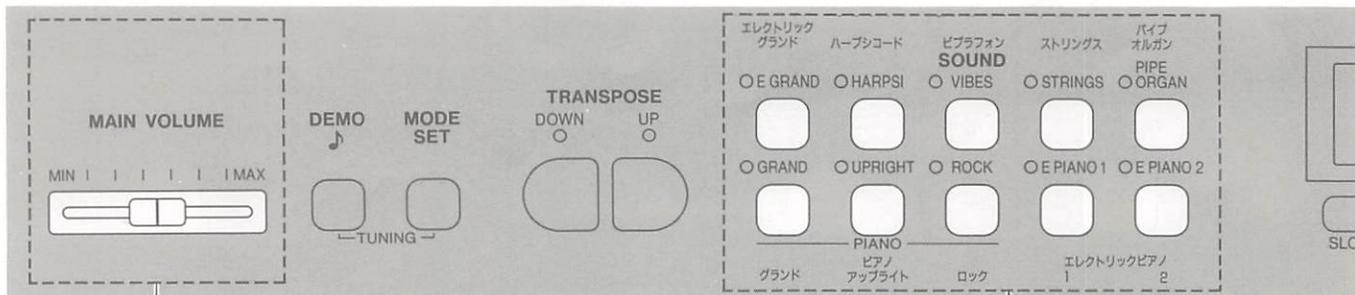
デジタルセレステ

音色に厚みや広がりをつけます。

- かかりかたは、音色ごとに違います。
- 音色ごとにオン/オフを記憶します。



音色と効果について (PX105/PX107)



MAIN VOLUME

メインボリューム
音量を調節します。

- MINで最小になり、MAXで最大になります。

PX105



SOUND

サウンド

さまざまな音色を楽しめます。

- 2つの音色を重ねて鳴らせます。
(☞12ページ参照)
- このピアノの最大同時発音数は32(PX105)/64(PX107)音です。音色を重ねた場合は半分になります。

PX107



操作パネル

ソフトペダル
ペダルを踏むと音色が柔らかくなります。

サステインペダル

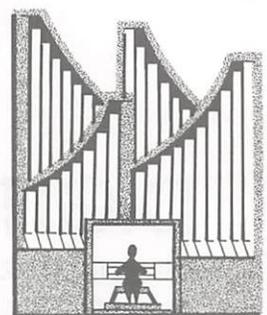
ペダルを踏むと音に余韻がつきます。

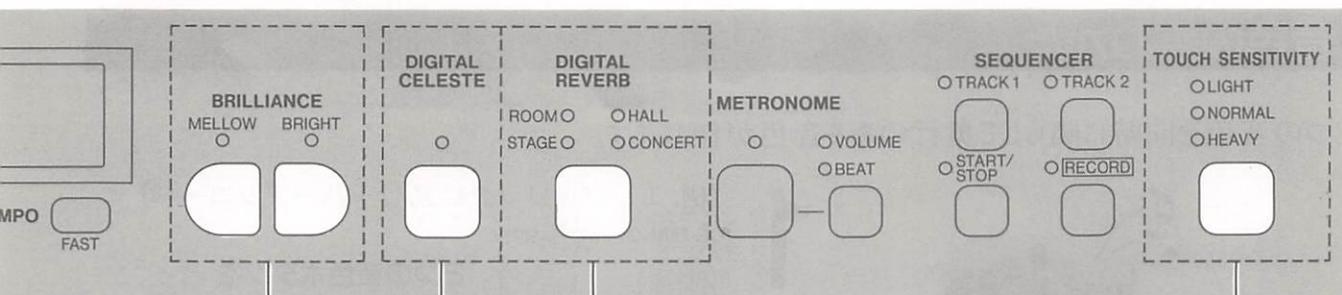
- グランドピアノ (GRAND PIANO)、アップライトピアノ (UPRIGHT PIANO)、ロックピアノ (ROCK PIANO)の音色では、右端の17鍵で常にかかります。
- PX107では踏み込みにしたがつて余韻が長くなります。(8段階)
- 弦の共振音を加えられる音色もあります。(☞16ページ参照)

ソステヌートペダル

鍵盤を押さえたままペダルを踏むと、その音だけに余韻がつきます。ペダルを踏んでから弾いた音にはつきません。

- パイプオルガン、ストリングス (PX107) の音色では、ペダルを踏んでいる間、音が鳴り続けます。





DIGITAL REVERB

デジタルリバーブ

音色に美しい残響をつけます。

- ルーム〈ROOM〉、ステージ〈STAGE〉、ホール〈HALL〉、コンサート〈CONCERT〉の4タイプから選べます。
- 音色ごとに設定を記憶します。
- リバーブの深さをタイプごとに変えることができます。(P.16ページ参照)

DIGITAL CELESTE

デジタルセレステ

音色に厚みや広がりをつけます。

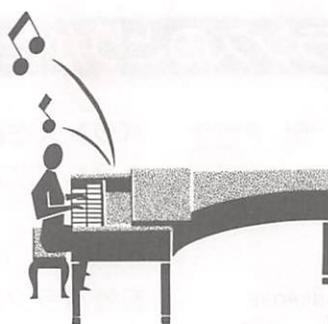
- かかりかたは、音色ごとに違います。
- 音色ごとにオン/オフを記憶します。

BRILLIANCE

ブリリアンス

音色の明るさを5段階に変えられます。

- 右ボタンを押すごとに明るく〈BRIGHT〉、左ボタンを押すごとに柔らかく〈MELLOW〉になります。
- 設定中はディスプレイに明るさが表示されます。(P.2~2)
- 左右同時に押すと標準の0になります。
- 音色ごとに明るさを記憶します。



TOUCH SENSITIVITY

タッチセンシティビティ

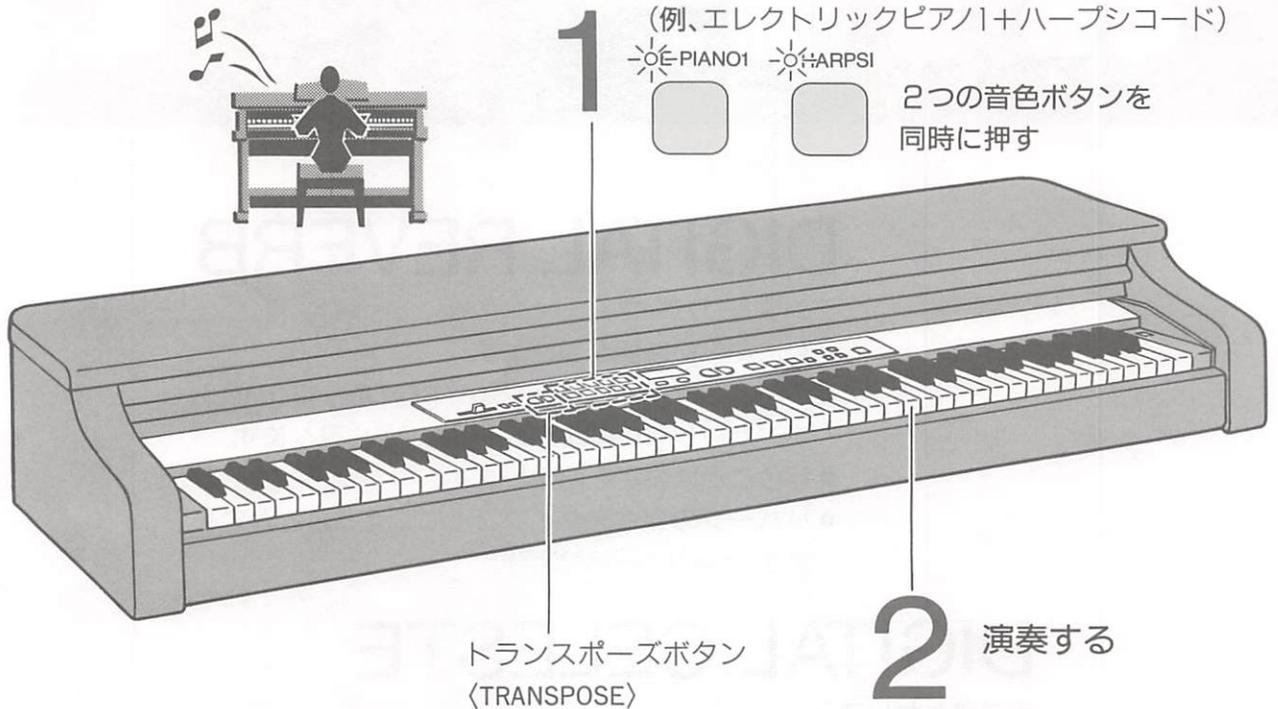
鍵盤のタッチの感度を変えられます。

- 軽い〈LIGHT〉…軽く押しても大きい音が出ます。(お子様などに)
- 標準〈NORMAL〉
- 重い〈HEAVY〉…強く押さないと、大きい音が出ません。(指を鍛えたいときなどに)

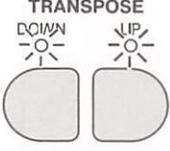
2つの音色を重ねる

音色の重ねかた

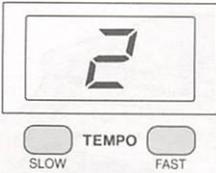
2つの音色を同時に鳴らして奥行のある音色が作れます。

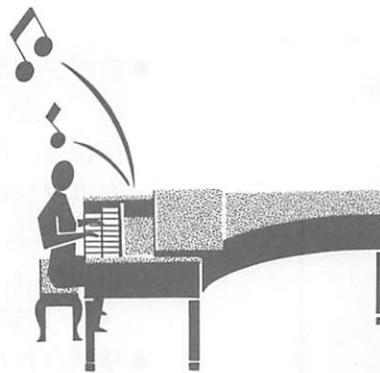


音量バランスのとりかた(PX102)

- 1 例、●EPIANO1 ●HARPSI バランスを設定する2つの音色を同時に2~3秒押し続ける
 - 選んだ2つの音色とトランスポーズ<TRANSPOSE>のインジケータが点滅します。
- 2  音量バランスを調節する
 - アップ<UP>を押すごとにボタン位置が右側音色の音量が大きく、左側音色の音量が小さくなり、ダウン<DOWN>を押すごとに左側音色の音量が大きく、右側音色の音量が小さくなります。鍵盤を弾いてバランスを確認してください。
 - どちらかの音色の音量が最大の場合、それ以上音量を大きくしようとするとトランスポーズのインジケータが点滅します。
 - 左右同時に押すと標準状態になります。
- 3 例、●HARPSI 音色ボタンのどれか一つを押す⇒調節終了

音量バランスのとりかた(PX105/PX107)

- 1** 例、●EPIANO1 ●HARPSI バランスを設定する2つの音色を同時に2~3秒押し続ける
- 選んだ2つの音色のインジケータが点滅し、ディスプレイに現在の音量バランスが表示されます。
- 2**  音量バランスを調節する。
- ファースト(FAST)を押すごとにボタン位置が右側音色の音量が大きく、左側音色の音量が小さくなり、スロー(SLOW)を押すごとに左側音色の音量が大きく、右側音色の音量が小さくなります。鍵盤を弾いてバランスを確認してください。
 - 2つの音色ボタンが同じ縦列にある場合は、上列にある方を右側音色ボタン、下列にある方を左側音色ボタンとして設定します。
 - ディスプレイが1~5では右側の音色が大きくなり、-1~-5では左側の音色が大きくなります。
 - 左右同時に押すと標準状態の0になります。
- 3** 例、●HARPSI 音色ボタンのどれか一つを押す⇒調節終了



MEMO

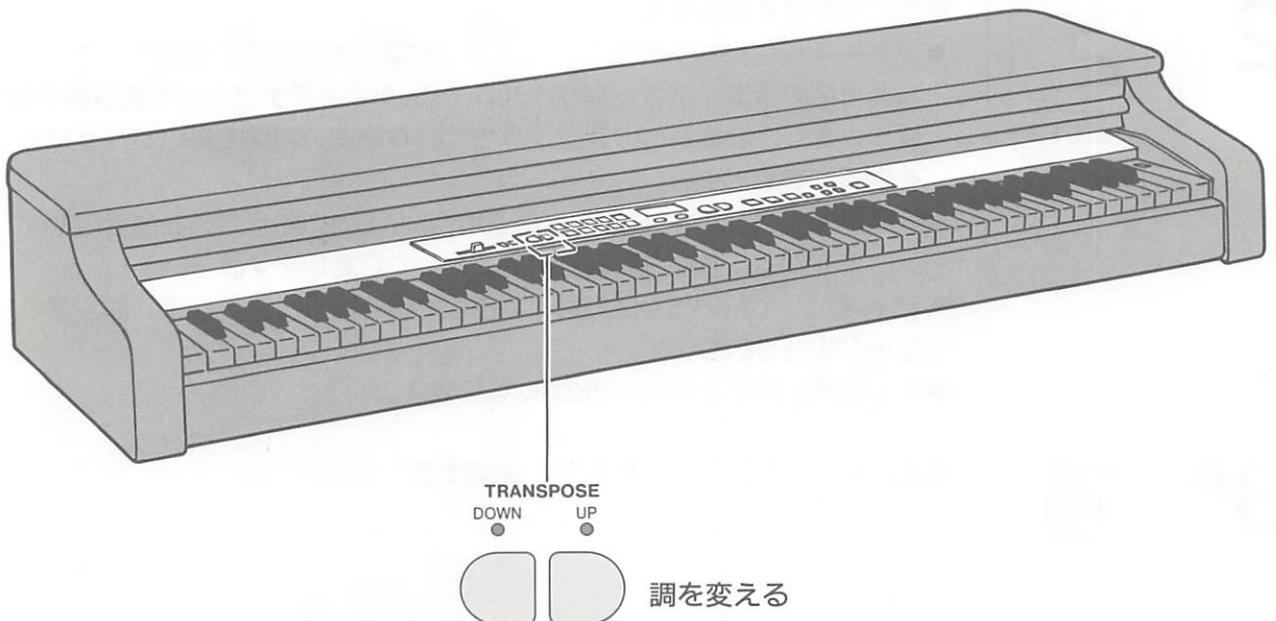


- 音量バランスはそのまま記憶され、次に同じ組み合わせを選んだときには、同じバランスになります。
- 音色を重ねるとハープシコード、パイプオルガンにはサステインペダルがはたらきません。
- 重ねた音色ごとに効果などを設定できます。次に同じ組み合わせを選んだときには、同じ効果がかかります。

移調する

移調のしかた

歌のキーに合わせて演奏するときや、難しい調の曲を演奏するとき、押さえる鍵盤の位置を変えずに調を変えられます。



Dに移調した場合

鍵盤の位置



Cmajor(八長調)

実際に出る音



Dmajor(二長調)

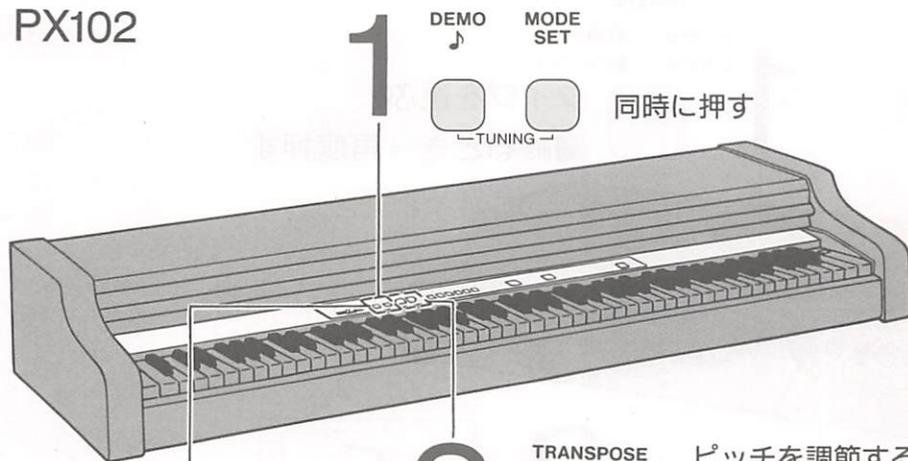
- 右ボタンを押すごとに半音ずつ上がる
D^b (d^b)、D (d)、E^b (E^b)、E (E)
F (F)、F[#] (F[#])
左ボタンを押すごとに半音ずつ下がる
B (-b)、B^b (-b^b)、A (-A)、A^b (-A^b)、G (-G)
- ()内PX105/PX107ディスプレイ表示
- 移調された状態では、いずれかのボタンのインジケータが点灯しています。
- 上限(F[#])あるいは下限(G)以上に設定しようとするインジケータが点滅します。
- 左右同時に押しと基準のCに戻ります。
- PX105/PX107：設定後しばらくするとディスプレイは通常演奏時のオフ状態に戻ります。

ピッチを調節する

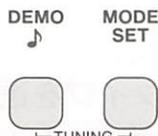
調節のしかた

他の楽器とアンサンブルするときなど、ピッチ(音程)の調節ができます。

PX102

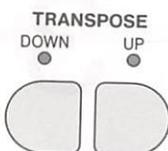


1



同時に押す

2



ピッチを調節する

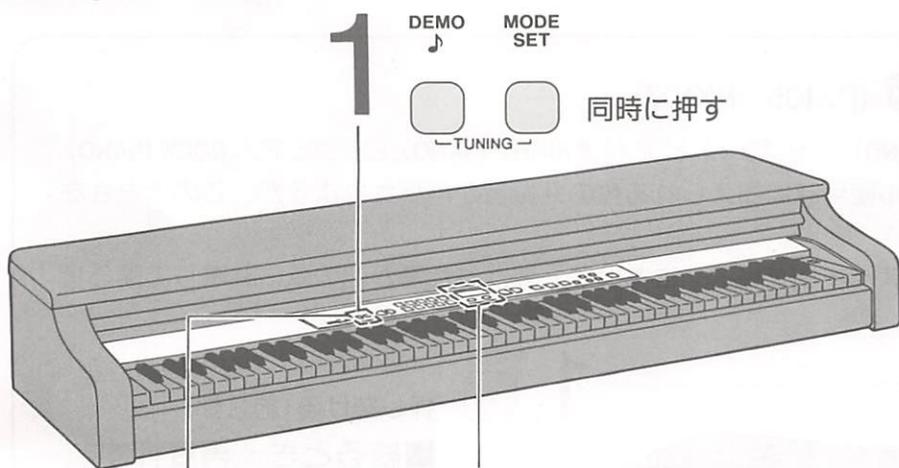
- 右ボタンを押すごとに高く、左ボタンでは低くなります。(427.3~440.0~453.0Hz)
- 押し続けると連続して変化します。
- 上限あるいは下限以上に設定しようとするときインジケータが点滅します。
- 左右同時に押すと基準の440.0Hzに戻ります。

■ 終るとき

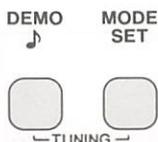
⇒ どちらかを押す

移調する / ピッチを調節する

PX105 / PX107



1



同時に押す

2



ピッチを調節する

- 右ボタンを押すごとに高く、左ボタンでは低くなります。(427.3~440.0~453.0Hz)
- 押し続けると連続して変化します。
- ディスプレイには百の桁(4)は表示されません。また小数点以下は0、3、6と表示します。
- 左右同時に押すと基準の440.0Hzに戻ります。

■ 終るとき

⇒ どちらかを押す

リバーブの深さを変える (PX105/PX107)

設定のしかた

リバーブの深さをタイプごとに変更することができます。

DIGITAL REVERB
 ROOM ● ● HALL
 STAGE ● ● CONCERT

1 タイプを選ぶ
 終るとき⇒再度押す

2 **MODE SET**
 押しながら 押す

DIGITAL REVERB
 ROOM ● ● HALL
 STAGE ● ● CONCERT

3 SLOW TEMPO FAST
 深さを設定する
 ● 右ボタンを押すごとに深く、左ボタンでは浅くなります。
 ● ディスプレイに現在のリバーブの深さが表示されます。(1~8)
 ● 左右同時に押すと標準の6になります。

■弦共振音の調節 (PX105/PX107)

グランドピアノ〈GRAND PIANO〉、アップライトピアノ〈UPRIGHT PIANO〉、ロックピアノ〈ROCK PIANO〉音色では、サステインペダル使用時に加えられる弦の共振音が再現されますが、この大きさを調節することができます。

- 弦の共振音とは、アコースティックピアノにおいて、弾かれた音が他の弦に共鳴して鳴る音のことです。

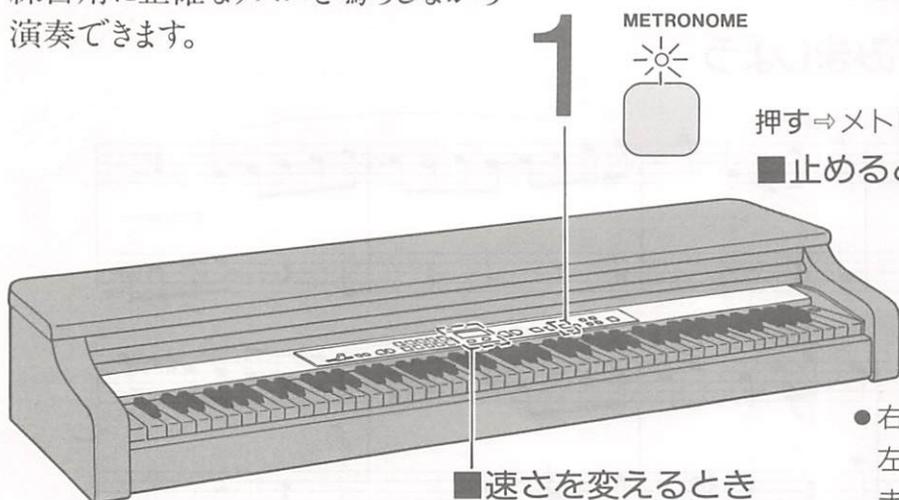
1 GRAND
 押し続ける(約3秒)
 終るとき⇒再度押す

2 SLOW TEMPO FAST
 大きさを設定する(0~7)
 ● 右ボタンを押すごとに大きく、左ボタンでは小さくなります。
 ● 0では弦共振音は鳴りません。

メトロノームを使う (PX105/PX107)

メトロノームの鳴らしかた

練習用に正確なリズムを鳴らしながら演奏できます。



METRONOME



押す⇒メトロノームスタート

■止めるとき⇒再度押す

■速さを変えるとき



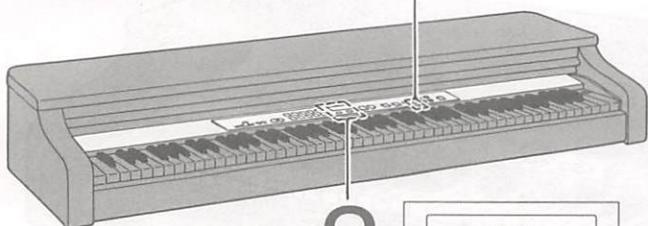
設定する



アクセント表示(点滅)

- 右ボタンを押すごとに速く、左ボタンを押すごとに遅くなります。
- J = 40～300の間で設定できます。
- 左右同時に押すと、標準の120になります。
- 押し続けると連続して変化します。

■メトロノームの音量調節



VOLUME BEAT



押してボリューム(VOLUME)を選ぶ

■終るとき⇒2回押す

2

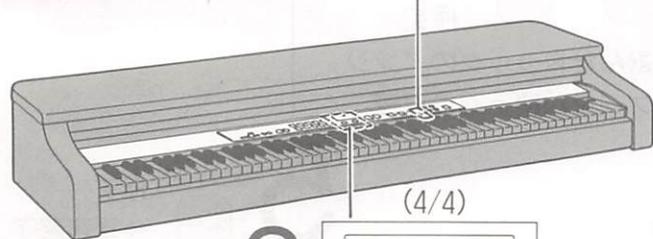


音量調節
(1～9)



- 右ボタンを押すごとに大きく、左ボタンでは小さくなります。
- 左右同時に押すと標準の5になります。

■拍子の選び方



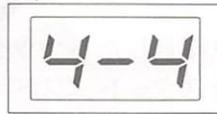
VOLUME BEAT



押してビート(BEAT)を選ぶ

■終るとき⇒1回押す

2



拍子を選ぶ
(OFF、2/4、3/4、
4/4、5/4、6/8)



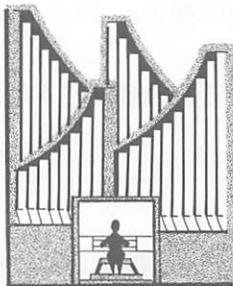
- 選ばれた拍子の頭にアクセントがつきます。
- OFFを選ぶとアクセントが付きません。
- 左右同時に押すと標準の4/4になります。

演奏を録音する (PX105/PX107)

録音のしかた

演奏をテープレコーダー感覚でシーケンサーへ録音して再生することができます。

■次の曲を録音してみましょう



- 1** 音色、効果などを設定する
- 2**  押す

 - トラック1、2のインジケータ点滅。
- 3**   どちらかを押す

 - 選んだトラックのインジケータがゆっくり点滅。
- 4** 演奏する

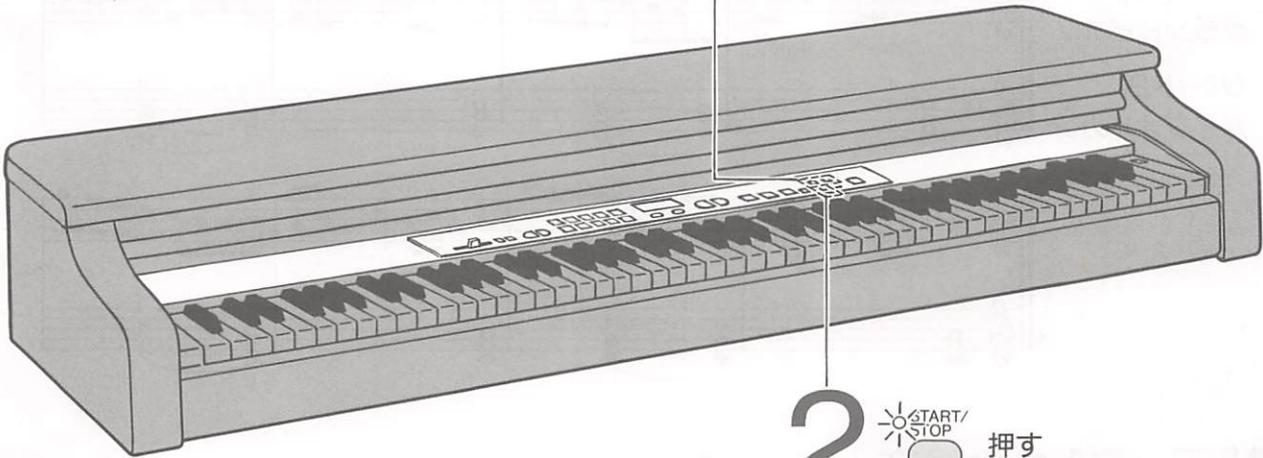
 - 鍵盤を弾くと同時に録音が始まります。
 - スタート/ストップでも、録音が始まります。
- 5**  押す

 - 録音したトラックのインジケータが点灯。
 - スタート/ストップでも、録音を終了できます。

再生のしかた

- 1   再生するトラックのインジケータが点灯していることを確認する
- 点灯していない場合は押してオンに。

- 2  押す
⇒再生される



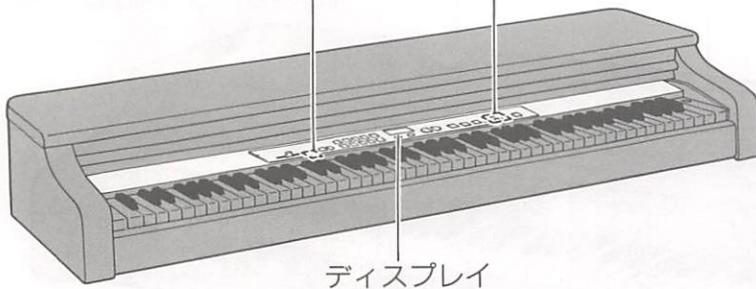
演奏を録音する

不要な録音内容を消すには

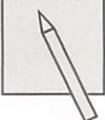
- 1  押しながら 2   消したいトラックボタンを「ピッ」と鳴るまで2~3秒押し続ける。

→  ●消去される

- 録音を消すとき、2つのトラックを同時に押して消すこともできます。
- 録音操作中は録音内容の消去はできません。



MEMO



- 録音される内容は、演奏情報とペダル操作、音色切り替え、デジタルセレステのオン/オフ操作です。
- 録音できる容量は、両トラック合わせて約4000音です。
- 録音容量が20%以下になると、ディスプレイに残量が%単位で表示されます。
- 容量がいっぱいになると、ディスプレイに「FUL」が表示され、「ピッ」と鳴り、自動的に録音終了します。
- 両トラック同時には録音できません。
- メトロノームを鳴らして録音できます。
- 再生はテンポ(TEMPO)で速さを調節できます。
- 再生時ディスプレイに「Err」と表示されると正しく録音できていません。もう一度録音を行ってください。
- PX107のサステイン効果は演奏時とニュアンスが異なる場合があります。
- 録音内容は、電源を切っても約1週間保存されます。

演奏を録音する (PX105/PX107)

2つのパートを別々に録音

録音トラックは2つあります。別々に録音(多重録音)・再生できます。

■次の曲をパートごとに録音してみましょう

〈パート1〉
グランドピアノ

〈パート2〉
パイプオルガン



■トラック1への録音

〈パート1〉

The diagram shows a digital piano with five numbered steps for recording Part 1:

- 1** パート1の音色、効果などを設定する
- 2** 押す
●トラック1、2のインジケータが点滅。
- 3** 押す
●インジケータがゆっくり点滅。
- 4** パート1を演奏する
●鍵盤を弾くと同時に録音が始まります。
●スタート/ストップでも、録音が始まります。
- 5** 押す ⇒ 録音終了
●スタート/ストップでも、録音を終了できます。
●トラック1のインジケータが点灯。

■トラック2への録音

〈パート2〉

1 パート2の音色、
効果などを設定する

2  録音したトラックの
インジケータ点灯を確認する
●点灯していない場合は押し
てオンに。

3  押す
●トラック2の
インジケータが点滅。

4  押す
●インジケータが
ゆっくり点滅。

5 パート2を
演奏する

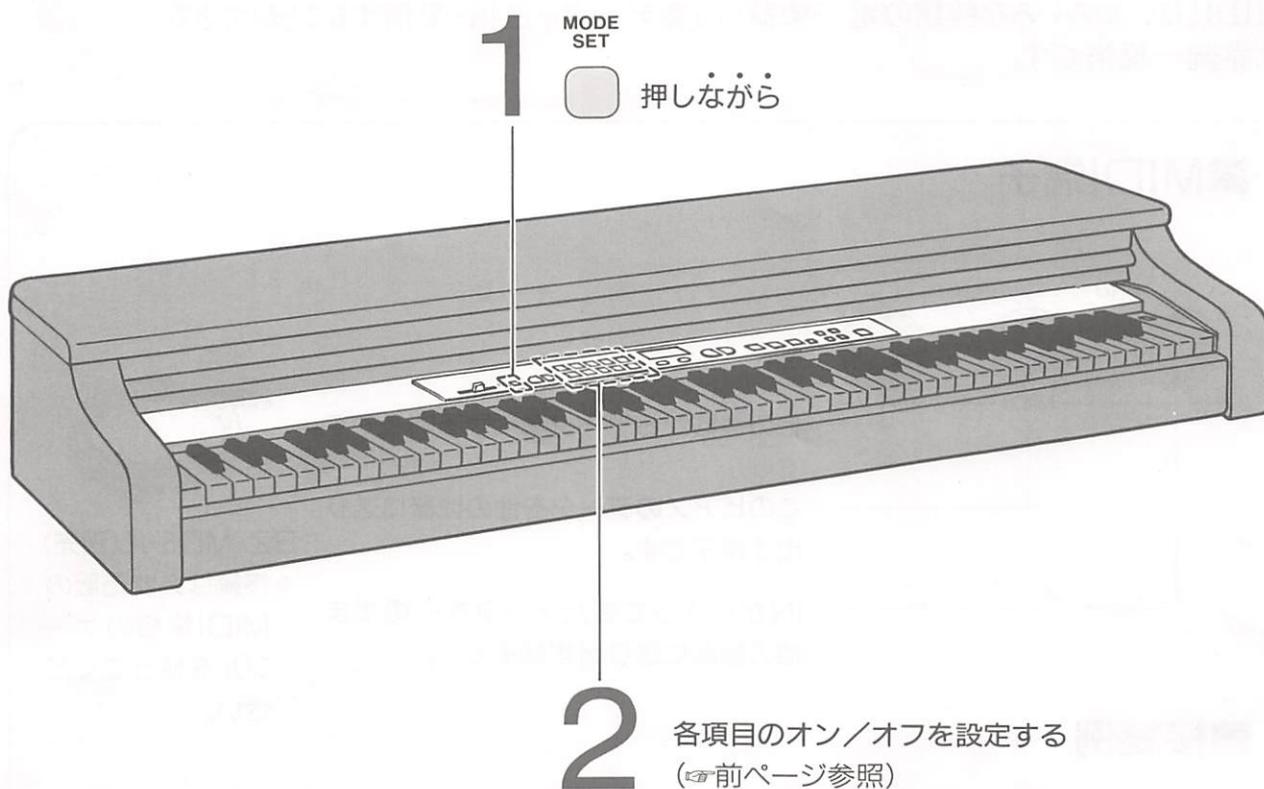
- 鍵盤を弾くと、トラック1の再生が始まり、同時にトラック2も録音されます。
- スタート/ストップでも、録音が始まります。

6  押す
⇒録音終了

■再生するとき 19ページ参照

演奏を録音する

設定のしかた



そのほかの機能を設定する

MEMO



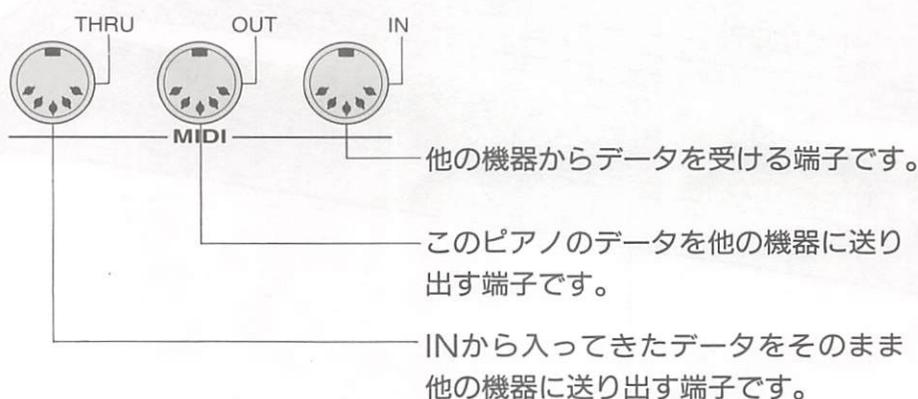
- 設定中は鍵盤を弾いても音はでません。
- ミニマムレンジはグランドピアノ、アップライトピアノ、ロックピアノ(PX105/PX107)、エレクトリックピアノ、2、エレクトリックグランド(PX107)の音色にかかります。
- PX102: ソステヌートに設定するとパイプオルガンの音色ではペダルを踏んでいる間、音が鳴り続けます。
- モードセット〈MODE SET〉を押しながら、イニシャル〈INITIAL〉と表示された鍵盤を押すと設定がすべて初期状態(お買い上げ時の状態)になります。
- イニシャル操作を行なうとMIDI(前24ページ参照)も初期状態に戻ります。

MIDIの設定をする

MIDI設定のための準備

ミディ
MIDIとは、いろいろな種類の電子楽器と演奏データを送信・受信することができる世界統一規格です。

■MIDI端子



SZ-MD5-K(別売)

- 接続は必ず市販のMIDI規格のケーブルを使ってください。

■接続例

- このピアノを弾いてほかの楽器を鳴らす。
- 外部のシーケンサーでこのピアノを演奏させる。



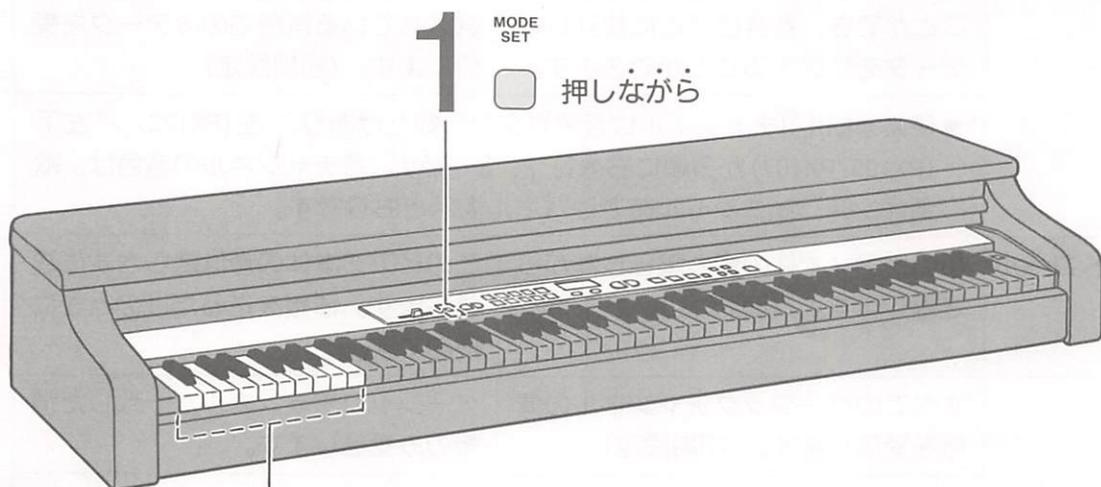
■送受信できる内容

- 鍵盤のオン/オフ情報(演奏情報)
- デジタルセレステ、ペダルのオン/オフ情報
- 音色の切り替え(プログラムチェンジ)情報

設定のしかた

■ベーシックチャンネルの設定

この楽器のベーシックチャンネルを設定します。(初期設定：1チャンネル)

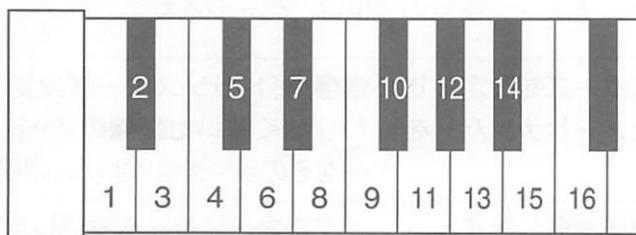


MODE SET

押しながら

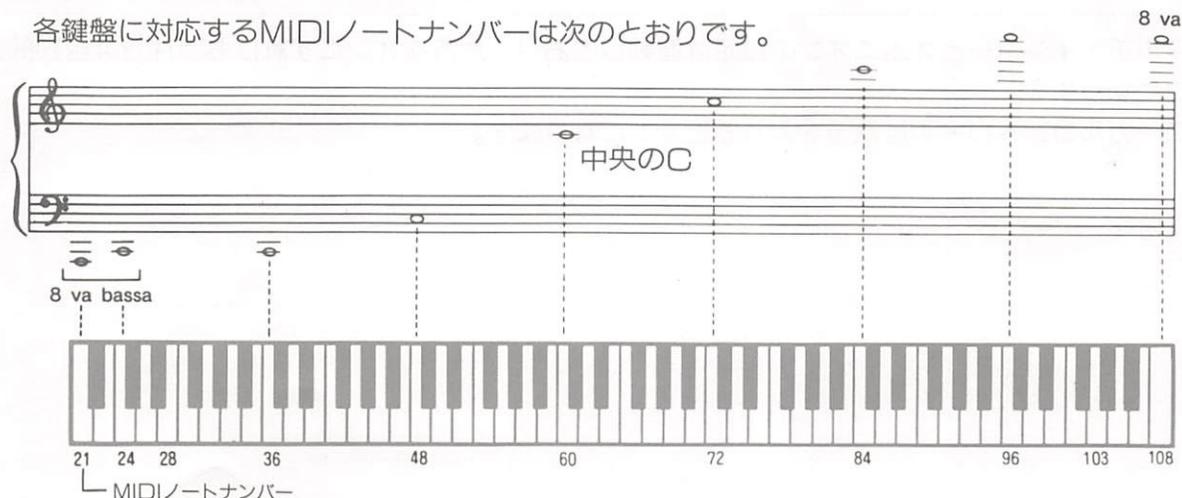
- 2** 左端の16鍵盤を使ってチャンネルを選ぶ
- PX105/PX107ではディスプレイにベーシックチャンネルの番号が表示されます。

ベーシックチャンネル設定鍵盤



■音域・MIDIノートナンバー

各鍵盤に対応するMIDIノートナンバーは次のとおりです。



MIDIの設定をする

MIDIの設定をする

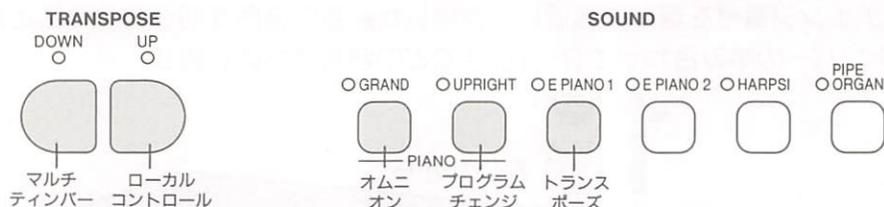
設定のしかた

	オン（インジケータ点灯）	オフ（インジケータ消灯）
マルチティンバー	このピアノをマルチ音源として使うことができ、各音色ごとに独立したデータを受信することができます。	マルチ音源としては使えません。選ばれている音色でのみデータを受信します。（初期設定）
	●使えるMIDIチャンネルは音色ボタンの数だけあり、左(PX102) / 左下(PX105/PX107)から順に右へ1、2、3～です。各チャンネルの音色は、電源オン時、イニシャル時ではパネル表示どおりです。	
ローカルコントロール	このピアノ本体の音も鳴らしながら送信します。（初期設定）	このピアノ本体の音は鳴らさずに送信します。情報を送るだけのときに便利です。
オムニオン	すべてのベーシックチャンネルの情報を受信します。（初期設定）	ベーシックチャンネルが一致した情報のみ受信します。
	●ベーシックチャンネルの設定は25ページを参照。	
プログラムチェンジ	音色の切り替え情報を送受信します。（初期設定）	音色の切り替え情報を送受信しません。
	●任意のプログラムチェンジ番号の送信は28ページを参照。	
トランスポーズ	送信時、トランスポーズを設定していれば移調されたノートナンバーを送信します。	送信時、トランスポーズ設定にかかわらず弾いた鍵盤のノートナンバーをそのまま送信します。（初期設定）
ペダル (PX105/PX107)	ペダル操作情報を送受信します。（初期設定）	ペダル操作情報を送受信しません。
エフェクト (PX105/PX107)	デジタルセレステのオン/オフ情報を送受信します。（初期設定）	デジタルセレステのオン/オフ情報を送受信しません。

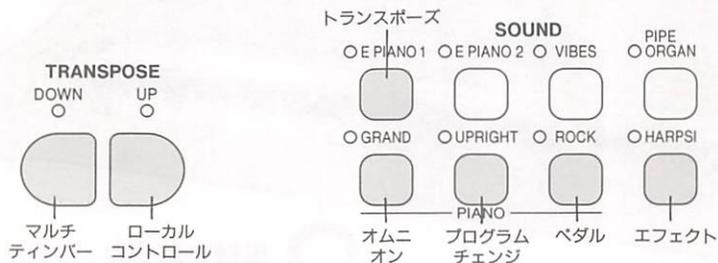
- マルチティンバーとオムニオンの設定は連動しており、片方をオンにすればもう片方は自動的にオフになります。
- ローカルコントロールは電源を入れるとオンになります。

MIDIの設定を行う場合は各ボタンが以下のようなはたらきをします。

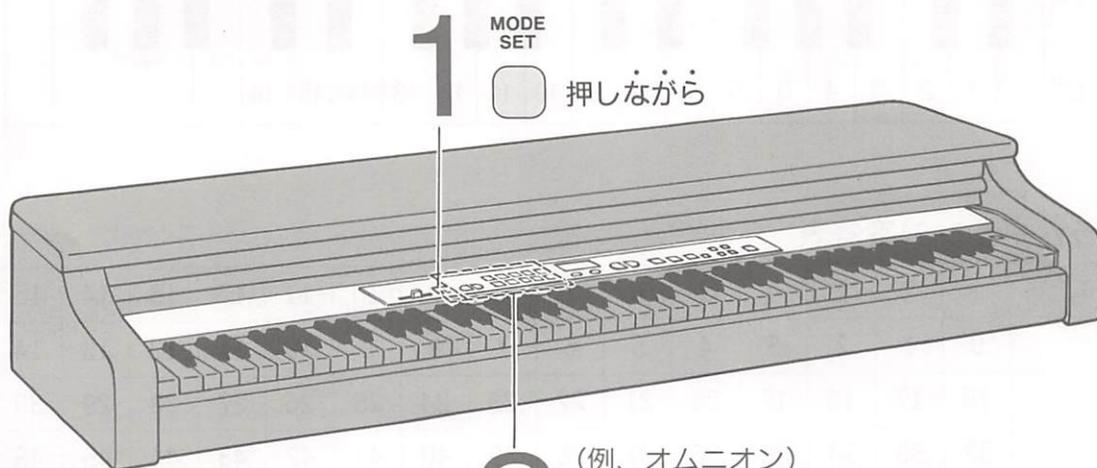
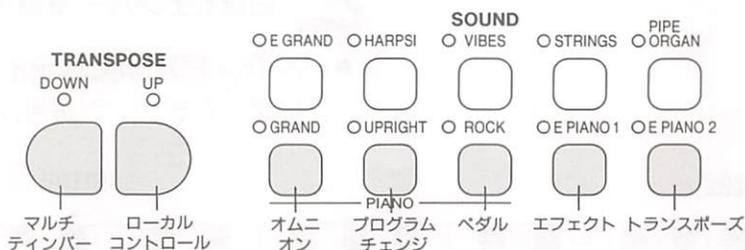
PX102



PX105



PX107



1 MODE SET 押しながら

2 (例、オムニオン)
● GRAND
各項目のオン/オフを設定する
(前ページ参照)

MEMO

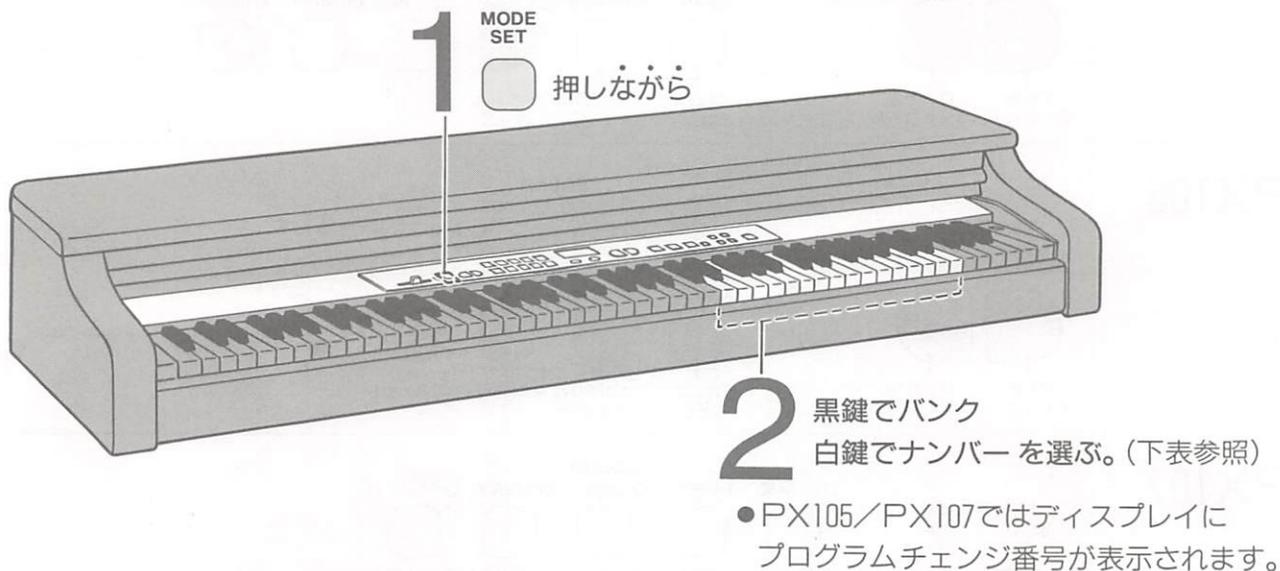
- モードセット (MODE SET) を押しながらイニシャル (INITIAL) と表示された鍵盤を押すと設定がすべて初期状態 (お買い上げ時の状態) になります。
- イニシャル操作を行うとそのほかの機能設定 (前23ページ参照) も初期状態に戻ります。

MIDIの設定をする

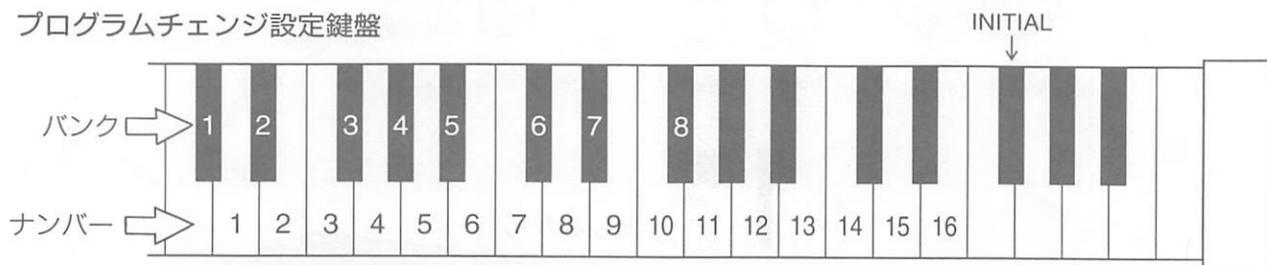
設定のしかた

■プログラムチェンジの送信

プログラムチェンジ番号を選んで送信し、接続した楽器の音色を切り替えることができます。
(バンクとナンバーの組み合わせで0~127までどの番号でも送れます)



プログラムチェンジ設定鍵盤



プログラムチェンジ番号表

バンク \ ナンバー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
2	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
3	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
4	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
5	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
6	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
7	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111
8	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127

- 音色ボタンを使ってプログラムチェンジ番号を送ることもできます。
左(PX102)/左下(PX105/PX107)から順に右へ0、1、2~。

■MIDIインプリメンテーションチャート

PCMデジタルピアノ (SX-PX102/SX-PX105/SX-PX107M)

ファンクション	送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能 1~16	1~16 1~16	チャンネルは記憶される
モード	電源ON時 メッセージ 代用 3 × —	1.3 × —	モードは記憶される
ノート ナンバー：音域	* 21~108 —	0~127 * 0~127	
ベロシティ	ノートオン ノートオフ ○ × (9nH:V=0)	○ ×	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別 × ×	× ×	
ピッチベンダー	×	×	
コントロール チェンジ	7 × 64 ○ (PX102) ○× (PX105/PX107) 66 ○ (PX102) ○× (PX105/PX107) 67 ○ (PX102) ○× (PX105/PX107) 93 ○ (PX102) ○× (PX105/PX107)	** ○ ○ (PX102) ○× (PX105/PX107) ○ (PX102) ○× (PX105/PX107) ○ (PX102) ○× (PX105/PX107) ○ (PX102) ○× (PX105/PX107)	ボリューム サステインペダル ソステヌートペダル ソフトペダル コーラス (デジタルセレステ)
プログラム チェンジ：設定可能範囲	○× 0~127	○× 0~5 (PX102) 0~7 (PX105) 0~9 (PX107)	
エクスクルーシブ	×	×	
：ソング・ポジション コモン：ソング・セレクト ：チューン	× × ×	× × ×	
リアルタイム ：クロック ：コマンド	× ×	× ×	
その他 ：ローカル・オン/オフ ：オール・ノート・オフ ：アクティブ・センシング ：リセット	× × ○ ×	× ○ ○ ×	
備考	○× 送信・受信する、しないの設定あり * トランスポーズにより変化 ** マルチティンバー時のみ有効		

MIDIの設定をする

モード1：オムニ・オン、ポリ
モード3：オムニ・オフ、ポリ

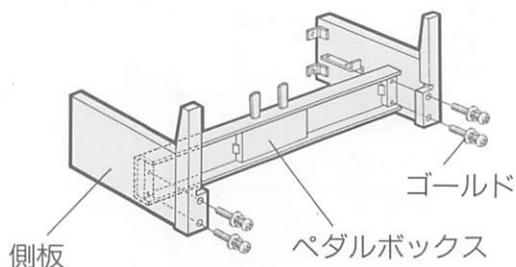
モード2：オムニ・オン、モノ
モード4：オムニ・オフ、モノ

○：あり
×：なし

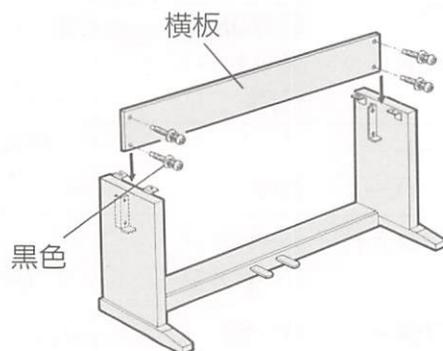
組み立てかた

PX102の組み立てかた

- 1 4本のネジ(ゴールド)で側板をペダルボックスに固定する。

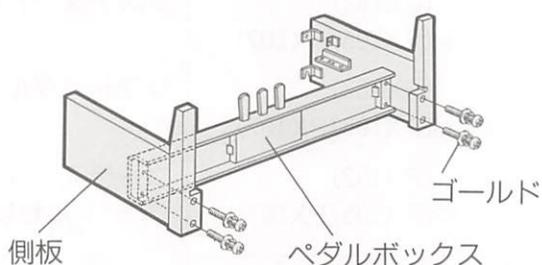


- 2 スタンドを立て、横板を4本のネジ(黒色)でL型金具の手前に固定する。

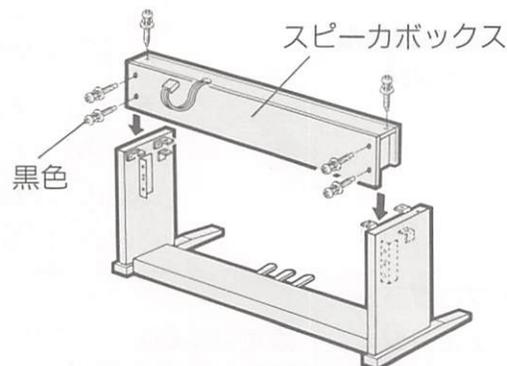


PX105の組み立てかた

- 1 4本のネジ(ゴールド)で側板をペダルボックスに固定する。

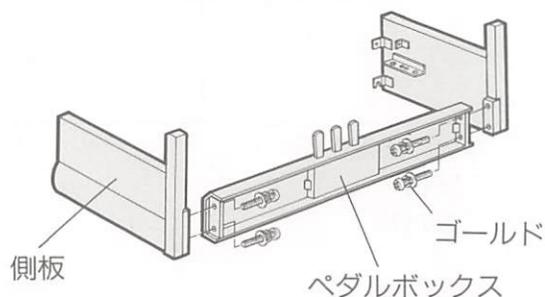


- 2 スタンドを立て、スピーカボックスをL型金具の上からはめ込み、6本のネジ(黒色)で固定する。

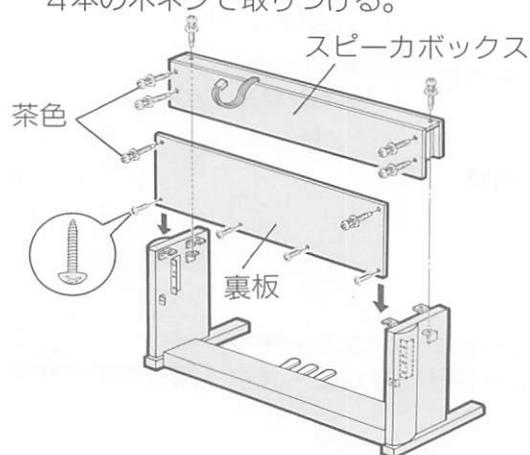


PX107Mの組み立てかた

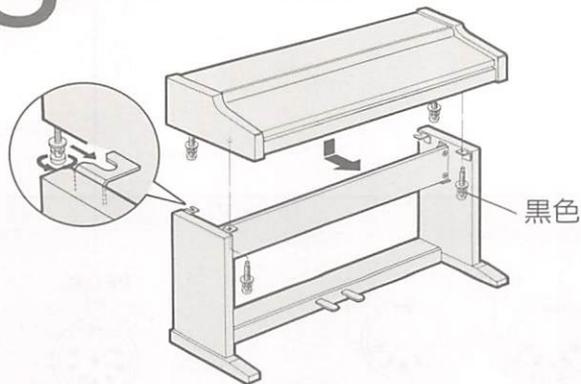
- 1 4本のネジ(ゴールド)で側板をペダルボックスに固定する。



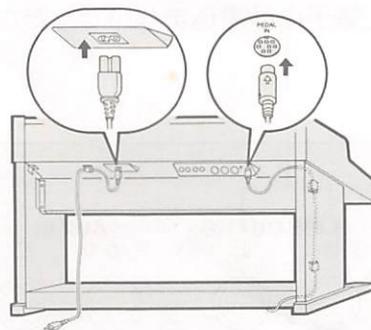
- 2 スタンドを立て、スピーカボックスをL型金具の上からはめ込み、6本のネジ(茶色)で固定する。裏板を2本のネジと4本の木ネジで取り付ける。



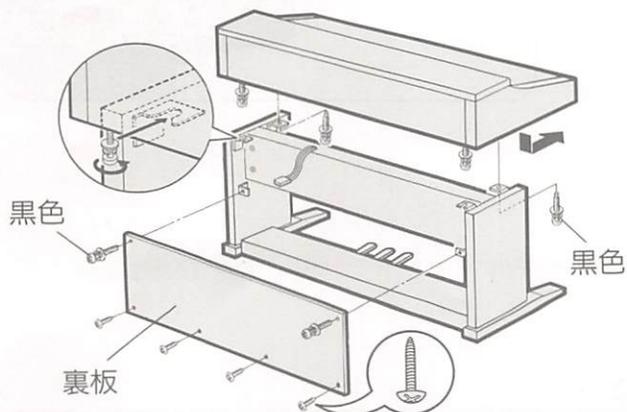
3 楽器本体を4本のネジでしっかりと締めてスタンドに固定する。



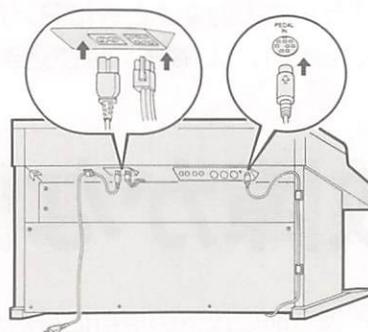
4 電源コードとペダルコードを接続する。
●コードクランパーでコードを図のように固定してください。



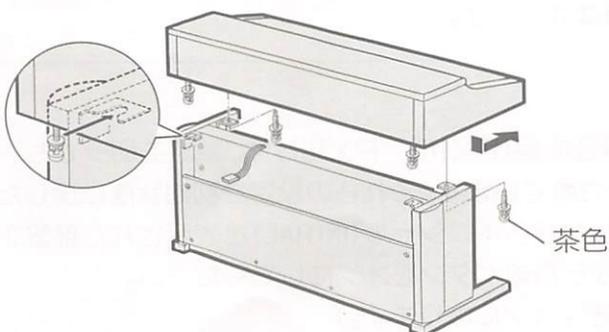
3 楽器本体を4本のネジでしっかりと締めてスタンドに固定し、裏板を2本のネジと4本の本ネジで取りつける。



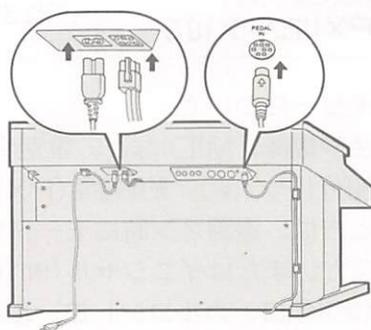
4 スピーカコード、電源コード、ペダルコードを図のように接続する。
●コードクランパーでコードを図のように固定してください。



3 楽器本体を4本のネジでしっかりと締めてスタンドに固定する。



4 スピーカコード、電源コード、ペダルコードを図のように接続する。
●コードクランパーでコードを図のように固定してください。



接続端子 (ピアノ後面下部)

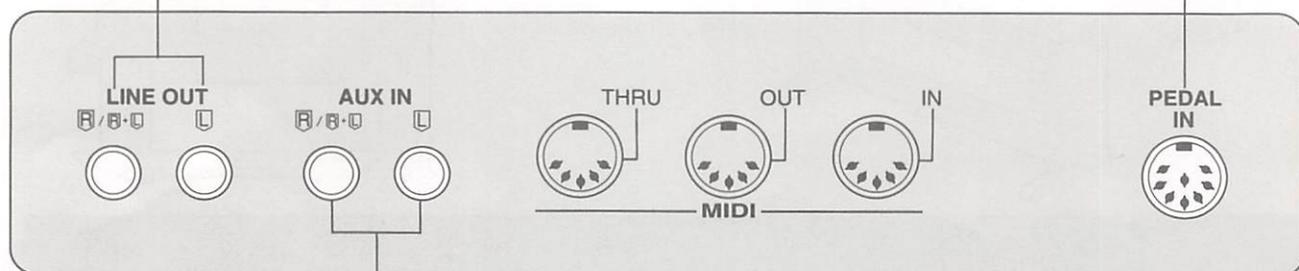
出力端子(大型ジャック)

アンプ内蔵スピーカやステレオ装置に接続して大きな音量で演奏できます。

- モノラルで出力するときはR/R+L端子をお使いください。(L端子には差込まないでください)

ペダル

スタンドからのペダルコードを接続します。

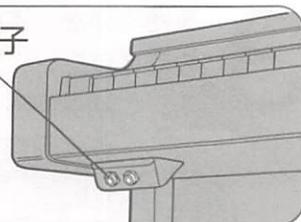


入力端子(大型ジャック)

音源モジュールなどを接続して同時に使えます。

- モノラルで入力するときはR/R+L端子をお使いください。(L端子には差込まないでください)

ヘッドホン端子
(Ω) × 2



故障かな!?

故障と思う前に以下の項目にしたがって調べてください。

現象	原因と処理方法
何も音がでない	<ul style="list-style-type: none"> ●メインボリュームがMINになっていませんか? →適当な音量に調節する。 ●MIDIローカルコントロールがオフになっていませんか? →オンにする。(P.26ページ参照)
ディスプレイに何も表示されない (PX105/PX107)	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスプレイにはメトロノーム、シーケンサーのテンポなどが表示されますが、通常演奏時はオフです。

●メモリーについて

音色や機能、MIDIなどの設定やシーケンサーの録音内容(PX105/PX107)は、電源を切っても約30分(PX102)/約1週間(PX105/PX107)保存されています。これらの設定を初期状態に戻したいときは、電源オン時にモードセットボタンを押しながらイニシャル(INITIAL)と表示された鍵盤を押すか、またはイニシャル(INITIAL)鍵盤を押しながら電源ボタンをオンにしてください。(MIDIのローカルコントロールは電源を入れたときはオンになります。)

アフターサービスについて

1. 保証書(別に添付してあります。)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間—お買い上げ日から1年間です。

2. 修理を依頼される時

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから後の処置をしてください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が出張修理をさせていただきます。

お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「ご相談センター」(別紙)にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・ご購入日
- 故障または異常の内容
(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日

●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「ご相談センター」(別紙)にご連絡ください。

3. 補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)を、製造打切り後最低8年間保有しております。

4. アフターサービス等について、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談センター」(別紙)にお問い合わせください。

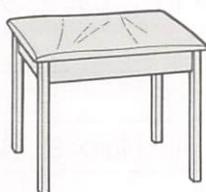
接続端子／故障かな!?／アフターサービスについて

別売商品

PX102/PX105用

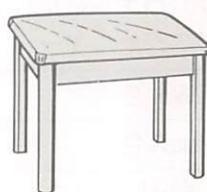


椅子SZ-CP1

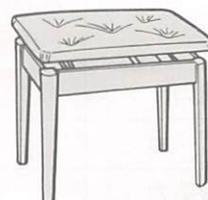


椅子SZ-CP2

PX107M用



椅子SZ-CP3M



椅子SZ-CP4M

ダストカバー

SZ-DC2(PX102) SZ-DC5(PX105/PX107M用)

定格

	SX-PX102	SX-PX105	SX-PX107M
鍵盤	88鍵(最大32音ポリフォニック)		88鍵(最大64音ポリフォニック)
音色	グランドピアノ、アップライトピアノ、エレクトリックピアノ1、2、ハーブシコード、パイプオルガン	グランドピアノ、アップライトピアノ、ロックピアノ、ハーブシコード、エレクトリックピアノ1、2、ビブラフォン、パイプオルガン	グランドピアノ、アップライトピアノ、ロックピアノ、エレクトリックピアノ1、2、エレクトリックグランド、ハーブシコード、ビブラフォン、ストリングス、パイプオルガン
ペダル	ソフト、サステイン	ソフト、ソステヌート、サステイン	
プリリアンス	—	メロウ、ブライツ(5ステップ)	
デジタルセレステ	○		
デジタルリバーブ	○(ルーム、ステージ、ホール)	○(ルーム、ステージ、ホール、コンサート)	
タッチセンシティブティ	ライト、ノーマル、ヘビー		
トランスポーズ	G~C~F#		
チューニング	427.3~440.0~453.0Hz		
メトロノーム	—	○(拍子:OFF、2/4、3/4、4/4、5/4、6/8)	
シーケンサー	—	トラック(1、2)、記憶容量:約4000音 入力方法:リアルタイム	
ディスプレイ	—	○	
デモ演奏	○		
MIDI	マルチティンバー、ローカルコントロール、オムニオン、プログラムチェンジ、トランスポーズ	マルチティンバー、ローカルコントロール、オムニオン、プログラムチェンジ、ペダル、エフェクト、トランスポーズ	
モードセット	ピアノチューニング、ミニマムレンジ、ソステヌート	ピアノチューニング、ミニマムレンジ	
その他	電源スイッチ、メインボリューム、MIDI端子(イン、アウト、スルー)、ペダル端子、入力端子(R/R+L、L)、出力端子(R/R+L、L)、ヘッドホン端子×2、ACコード端子、イニシャルキー		
出力	25W×2	40W×2	60W×2
スピーカ	14cm×2	14cm×2、6.5cm×2	
消費電力	57W	68W	87W
電源	AC100V 50/60Hz		
寸法 (幅×高さ×奥行き)	137.3cm×100.3cm×49.0cm	137.9cm×102.2cm×49.0cm	138.7cm×102.4cm×50.9cm
質量(重量)	49.3kg	65.4kg	72.0kg
付属品	譜面立て、ACコード、スタンド	ACコード、スタンド	

中部地区

<p>お客様ご相談センター</p> <p>中部 ☎052(951)3167 名古屋市東区泉1丁目23の30</p>	<p>松本 ☎0263(58)0073 松本市大字笹賀7600の7</p> <p>静岡 ☎054(287)9000 静岡市西島765</p> <p>名古屋 ☎052(614)3136 名古屋南区西又兵衛町3の48</p> <p>岐阜 ☎058(323)6010 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30</p> <p>高山 ☎0577(33)0613 高山市花岡町3丁目82</p> <p>三重 ☎0592(55)1380 久居市森町字北谷1920の3</p>
<p>修理相談窓口</p> <p>石川 ☎0762(94)2683 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80</p> <p>富山 ☎0764(32)8705 富山市寺島1298</p> <p>福井 ☎0776(54)5606 福井市開発4丁目112</p>	

四国地区

<p>お客様ご相談センター</p> <p>四国 ☎0878(51)3338 高松市古新町8の1</p>	<p>高知 ☎0888(66)3142 南国市岡豊町中島331の1</p> <p>東予 ☎0897(40)4501 新居浜市船木字元船木甲4120の1</p> <p>松山 ☎0899(71)2106 松山市土居田町750の2</p> <p>宇和島 ☎0895(25)6280 宇和島市中沢町1丁目5の43</p>
<p>修理相談窓口</p> <p>香川 ☎0878(74)6200 香川県綾歌郡国分寺町新名663の1</p> <p>徳島 ☎0886(98)1125 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108</p>	

関西地区

<p>お客様ご相談センター</p> <p>関西 ☎06(949)2050 大阪市中央区城見2丁目1の61</p>	<p>大阪 ☎06(359)6225 大阪市北区本庄西1丁目1の7</p> <p>奈良 ☎07435(9)2770 大和郡山市椎木町404の2</p> <p>和歌山 ☎0734(75)1311 和歌山市中島499の1</p> <p>神戸 ☎078(612)5035 神戸市長田区上池田5丁目5の23</p>
<p>修理相談窓口</p> <p>滋賀 ☎0775(82)5021 守山市勝部町260</p> <p>京都 ☎075(672)9636 京都市南区上鳥羽石橋町20の1</p>	

九州地区

<p>お客様ご相談センター</p> <p>九州 ☎092(414)3039 福岡市博多区博多駅南1丁目2の13</p>	<p>宮崎 ☎0985(85)6530 宮崎県宮崎郡清武町下加納366の2</p> <p>延岡 ☎0982(22)1138 延岡市卸本町1の30</p> <p>都城 ☎0986(22)2014 都城市平江町2街区13号</p> <p>熊本 ☎096(367)6067 熊本市健軍本町12の3</p> <p>八代 ☎0965(34)5611 八代市田中西町46</p> <p>天草 ☎0969(22)3125 本渡市港町18の11</p> <p>鹿児島 ☎0992(50)5657 鹿児島市与次郎1丁目7の36</p> <p>薩摩 ☎0996(25)2239 川内市永利町703の2</p> <p>鹿屋 ☎0994(44)7031 鹿屋市新川町6170の1</p> <p>大島 ☎0997(53)5101 名瀬市矢之脇町10の15</p>
<p>修理相談窓口</p> <p>福岡 ☎092(593)9036 春日市春日公園3丁目48</p> <p>佐賀 ☎0952(26)9151 佐賀市本庄町大字本庄896の2</p> <p>長崎 ☎0958(30)1658 長崎市東町1949の1</p> <p>佐世保 ☎0956(39)4626 佐世保市広田3丁目37の2</p> <p>大分 ☎0975(56)3815 大分市萩原4丁目8の35</p> <p>中津 ☎0979(24)6150 中津市大字万田612の1</p> <p>日田 ☎0973(24)6464 日田市玉川町3丁目554の2</p>	

中国地区

<p>お客様ご相談センター</p> <p>中国 ☎082(242)9511 広島市中区国泰寺町2丁目3の23</p>	<p>岡山 ☎086(292)1162 岡山県都窪郡早島町矢尾807</p> <p>津山 ☎0868(23)1264 津山市北園町22の8</p> <p>広島 ☎082(295)5011 広島市西区南観音8丁目13の20</p> <p>福山 ☎0849(53)8115 福山市卸町2の14</p> <p>尾道 ☎0848(20)2401 尾道市東尾道11の22</p> <p>徳山 ☎0834(22)1627 徳山市浦山開作8211の5</p> <p>山口 ☎0839(89)4441 山口市大字佐山1120の1</p> <p>下関 ☎0832(56)4597 下関市伊倉東町5の5</p>
<p>修理相談窓口</p> <p>鳥取 ☎0857(26)9695 鳥取市安長295の1</p> <p>米子 ☎0859(34)2129 米子市米原4丁目2の33</p> <p>松江 ☎0852(23)1128 松江市西津田2丁目10の19</p> <p>出雲 ☎0853(21)3133 出雲市渡橋町416</p> <p>浜田 ☎0855(22)6629 浜田市下府町327の93</p>	

沖縄地区

<p>修理相談窓口</p> <p>沖縄 ☎098(877)1207 浦添市城間4丁目23の11</p>	<p>北部 ☎0980(52)3458 名護市宇字茂佐914の3</p> <p>中部 ☎098(933)4010 沖縄市山内2丁目26の6</p>
--	---

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

愛情点検

長年ご使用のデジタルピアノの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- ・音がまったく出ない
- ・煙が出たり、異常な臭いがする
- ・水や異物が入った
- ・その他の異常や故障がある

以上のような症状のときは、使用
を中止し、故障や事故の防止の
ため必ずお買い上げの販売店に
点検(有償)をご相談ください。
・デジタルピアノの補修用性能部品最低
保有期間は製造打ち切り後8年です。

便利メモ●おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年 月 日	品 番	
販売店名	電話() —	お近くの当社 ご相談センター	電話() —

松下電器産業株式会社 電子楽器事業部

〒570 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号 TEL(06)908-1001